



経済産業省
地域×スポーツクラブ産業研究会 御中



B.LEAGUE

Bリーグスクール事業と課題

B.LEAGUE チェアマン 島田慎二

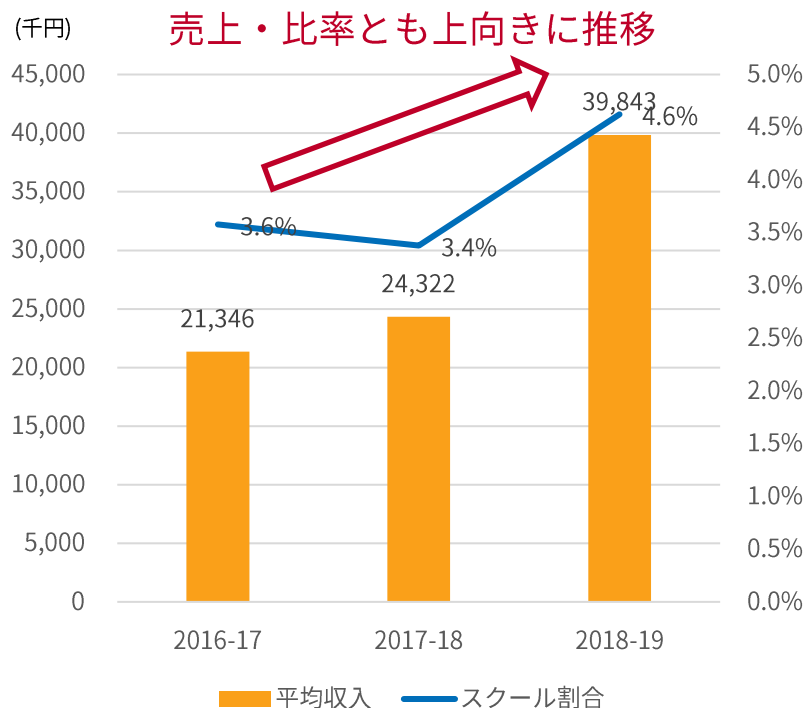
2020/12/9

Bリーグのスクール事業の位置づけと社会的意義



- 全国40都道府県にあるBリーグのクラブにおいて、スクール事業は貴重な収入源であり、上向きに推移を続けており、まだ拡大の余地はあるとみている。
- クラブ経営にとって副次的なインパクトがあるとともに、社会的な価値もある

B1クラブ 平均スクール事業収入と営業収入に占める割合



副次的 インパクト

ファンづくりの観点からも、ユニフォーム購入 (MD) や親子観戦によるチケット購入に潜在的に貢献

社会的な意義

楽しく学べるという理由で、部活動の厳しい環境からスクールに来ている子供たちもあり、部活の受け皿に

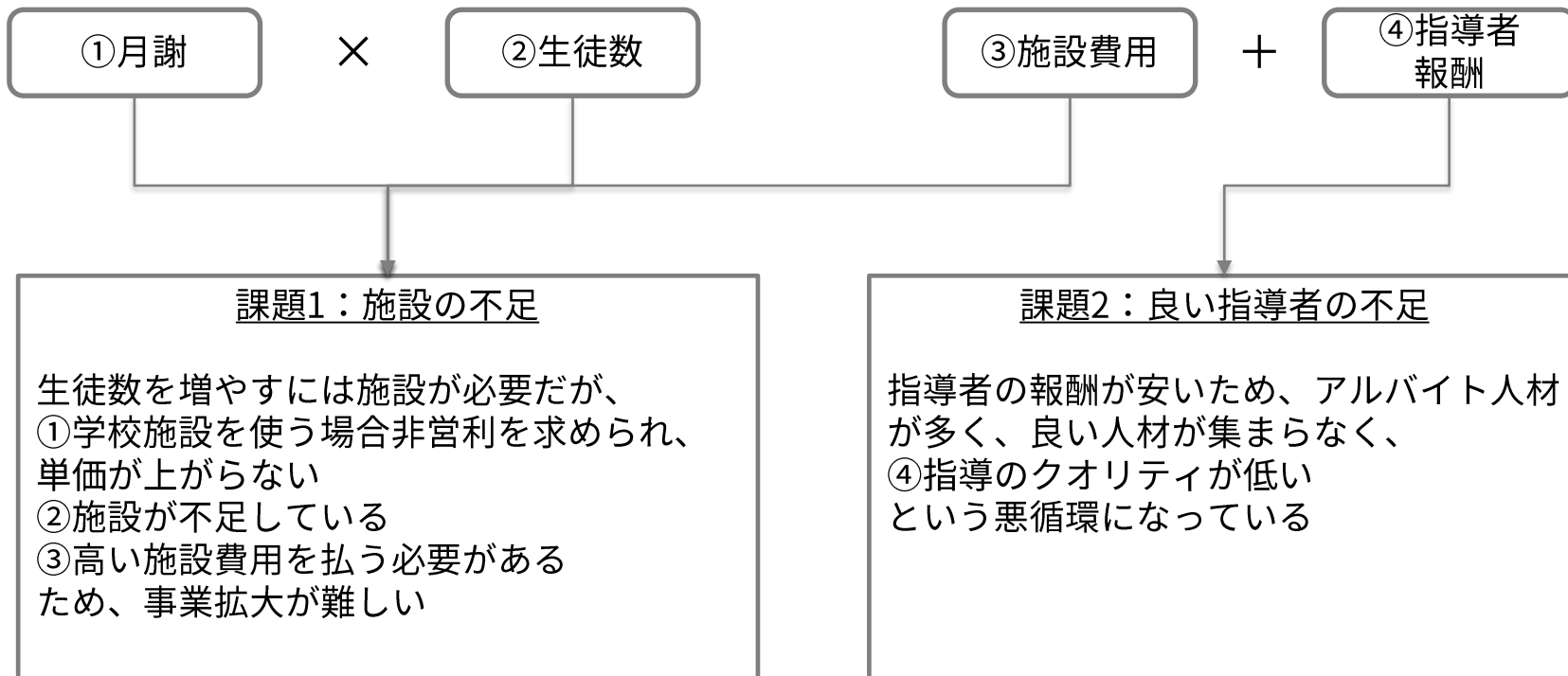
Bリーグのスクール事業の収益構造と課題



- ・ スクール事業において、施設の不足が事業拡大のボトルネックとなっている
- ・ 事業拡大が難しいため、指導者のクオリティが上がらないという状況

スクール事業収入

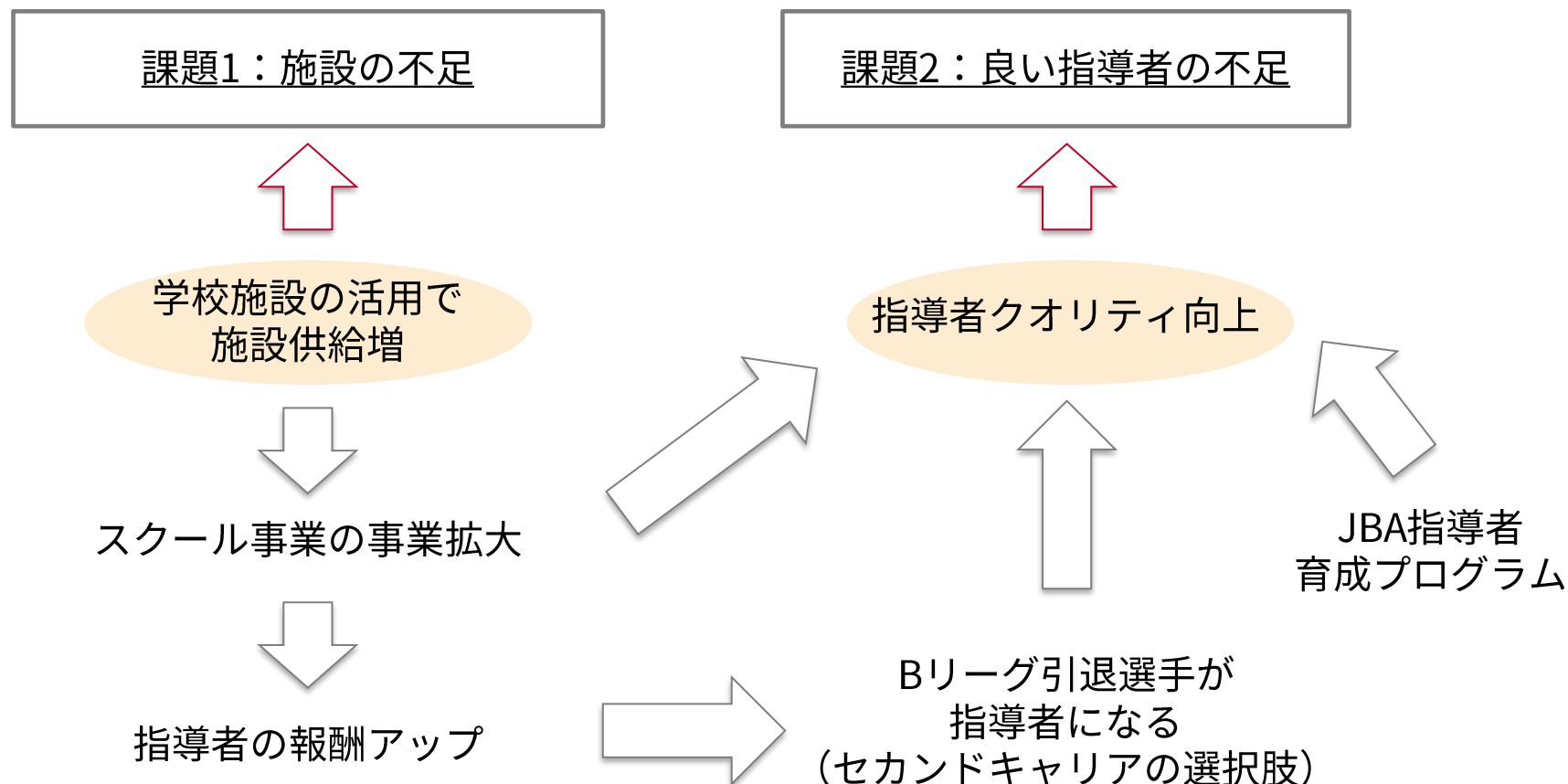
スクール事業支出



Bリーグのスクール事業の課題と解決の方向性



- 経産省が進める学校施設の活用がスクール事業の拡大をきっかけとして、良い人材がスクールの指導者となり、スクール事業の質が向上していく循環を回すことができる

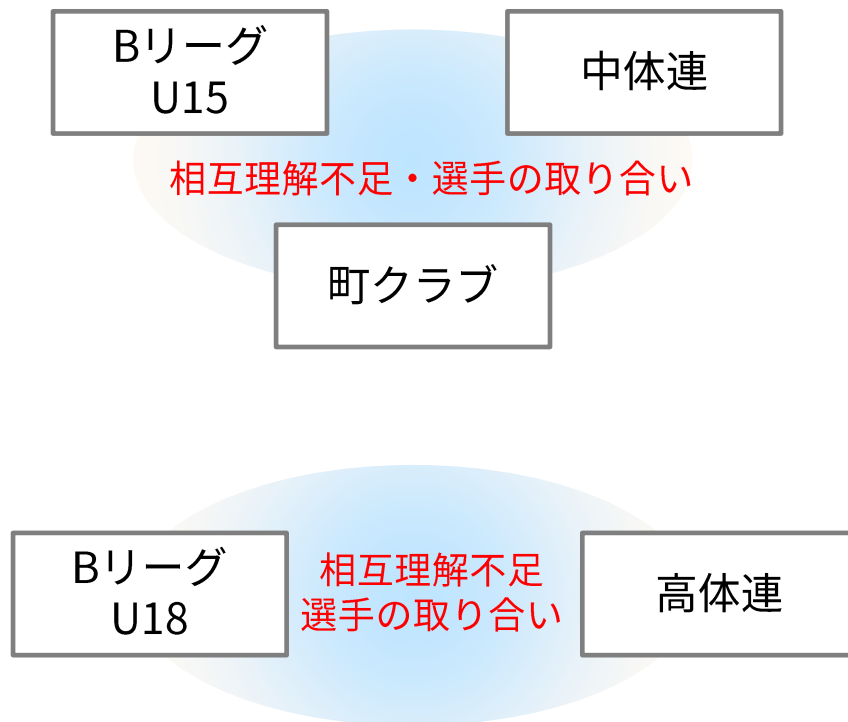


学校スポーツとBクラブユースの関係

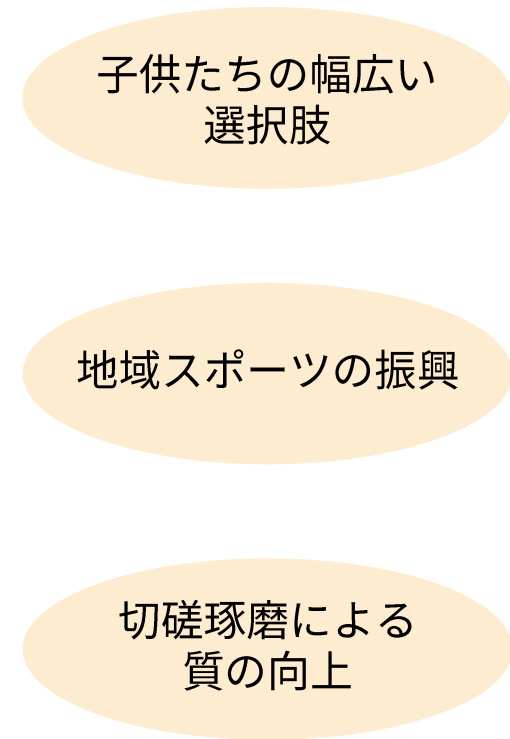


- Bクラブユースの立上当初は相互の進め方や指導の質に関する理解の不足、選手の取り扱いにつながるといふ懸念が見られた
- 現在では相互理解が進むとともに町クラブも増えて、子供たち / 地域 / 環境を提供するBクラブユース・部活動にとってもよい環境になることが見込まれる

立上初期



今後



toto法改正によるインパクト



- toto法改正により、スポーツファンには試合を観戦しながら予想を楽しむ新しい楽しみ方を提供できる
- totoの売上はスポーツ全体の振興に寄与するとともに、対象試合開催機構に対する経費支援は、Bリーグ・クラブの財政上大きな助けになる

スポーツファン



単一試合・順位予想などで試合を観戦しながら予想を楽しむ新しい楽しみ方でファンとのつながりを強化

スポーツ振興くじ(toto)



スポーツ振興のための
助成金交付



地域スポーツ・施設
スポーツ団体

対象試合開催機構への経費支援
助成金交付



B.LEAGUE

Bクラブ